

平成 21 年度

**第 5 次川崎町長期総合計画及び  
第 4 次川崎町国土利用計画策定業務**

**アンケート調査報告書  
(概要版)**

平成 22 年 5 月

**宮 城 県 川 崎 町  
国 際 航 業 株 式 会 社**

## 目 次

(1) 目 的 .....	1
(2) 調査方法、配布・回収状況 .....	1
(3) 集計結果の概要 .....	2
第四次川崎町長期総合計画の評価(問 2) .....	2
川崎町の良いところ・良くないところ(問 3・4) .....	3
川崎町の住みやすさと定住意向(問 5・6) .....	4
川崎町の将来の望ましい姿(問 7) .....	5
まちづくりにあたって特に力を入れて欲しいこと(問 8) .....	6
まちの将来像(問 9) .....	7
土地利用上の問題点・課題(問 10) .....	8
今後の開発と重点用途(問 11・12) .....	9
土地の所有状況と将来の土地所有(問 13・14) .....	10
今後の行政運営と町民意見の反映(問 15・16) .....	11
住民参加(問 17・18) .....	12
クロス集計結果【地域別】 .....	13
クロス集計結果【性別・年齢別・その他】 .....	16
クロス集計結果の整理 .....	19

# 川崎町長期総合計画・国土利用計画策定に係るアンケート調査(概要)

---

## (1) 目的

これまでの施策展開や現在の川崎町に対する評価、また、将来への期待や土地利用のあり方、行政への要望や行政運営の方法などについて、町民の意見・意向を把握し、今後策定予定の「第5次長期総合計画及び第4次国土利用計画」に反映させることを目的として実施した。

## (2) 調査方法、配布・回収状況

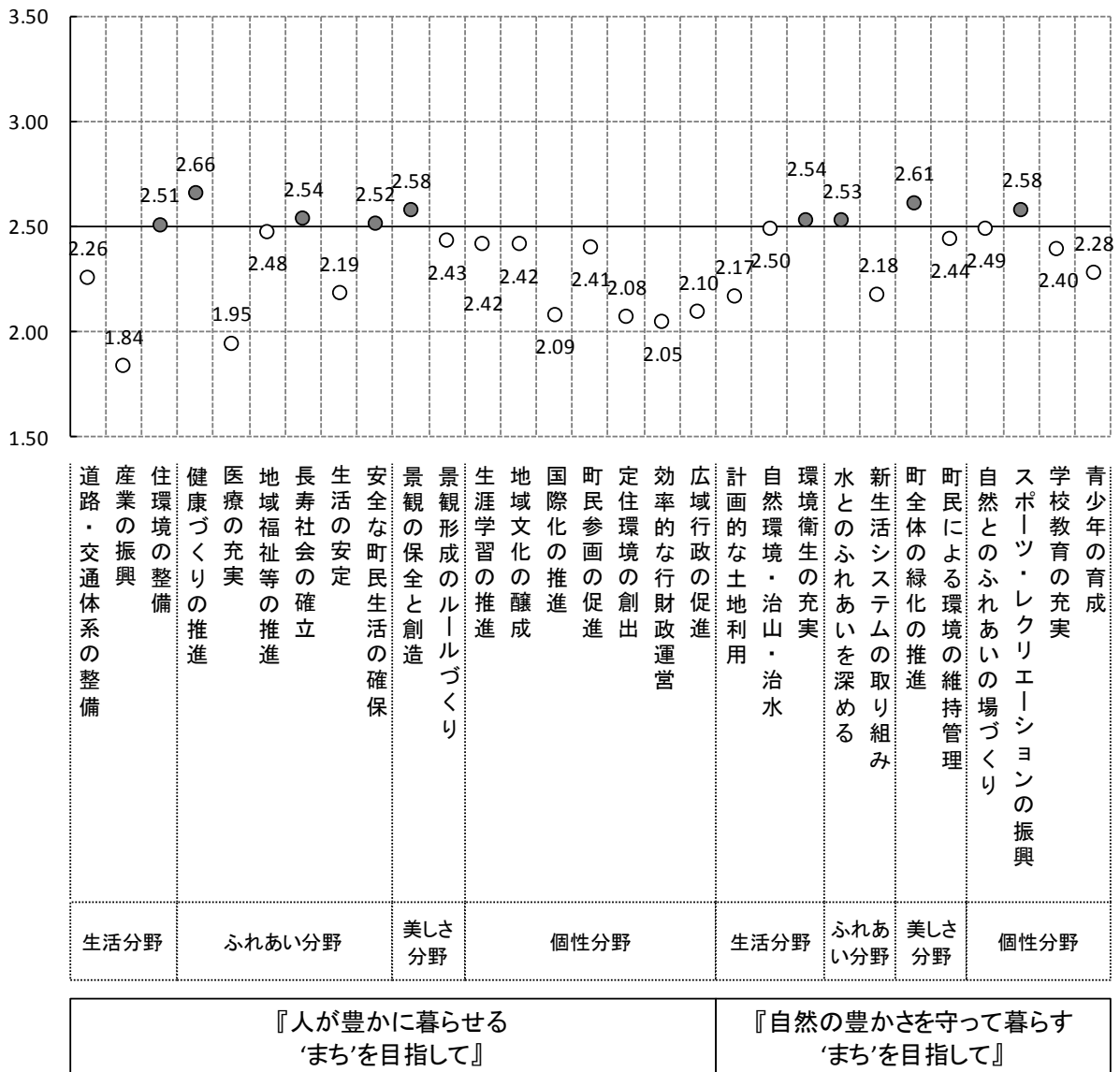
- 調査地域：川崎町全域
- 調査対象：川崎町に居住する、平成22年3月1日現在、満18歳以上の町民1,400人（住民基本台帳より無作為抽出）
- 調査方法：調査票を郵送配布、郵送回収
- 調査期間：平成22年3月19日（金）から3月31日（水）
- 回収数：518名（回収率37.0%）

(3) 集計結果の概要

第四次川崎町長期総合計画の評価（問2）

- **最も評価が高い分野は「健康づくりの推進」**で、「町全体の緑化の推進」、「景観の保全と創造」、「スポーツ・レクリエーションの振興」が続く。
- 逆に、**評価が低いのが「産業の振興」、「医療の充実」**で、「効率的な行財政運営」、「定住環境の創出」、「国際化の推進」が続き、**全般的に「個性分野」の評価が低くなっている**。

■ 第四次川崎町長期総合計画の満足度

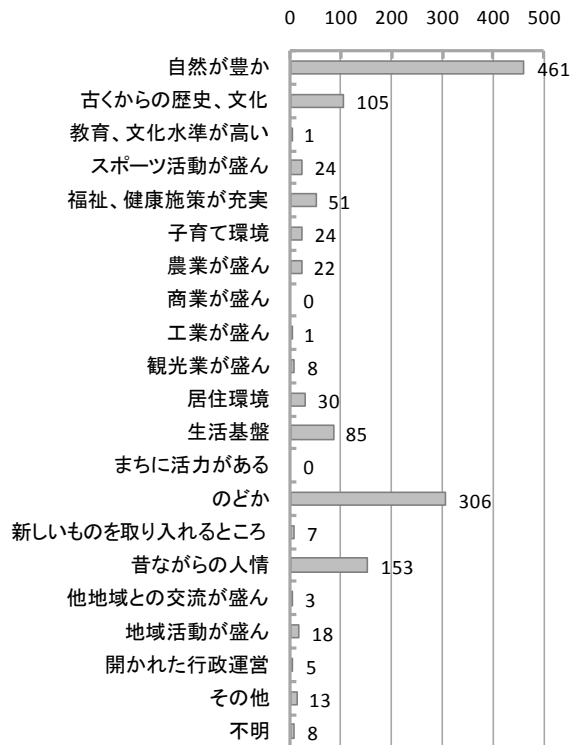


※ 「満足」4点、「まあ満足」3点、「やや不満」2点、「不満」1点として各項目を点数化したものである。

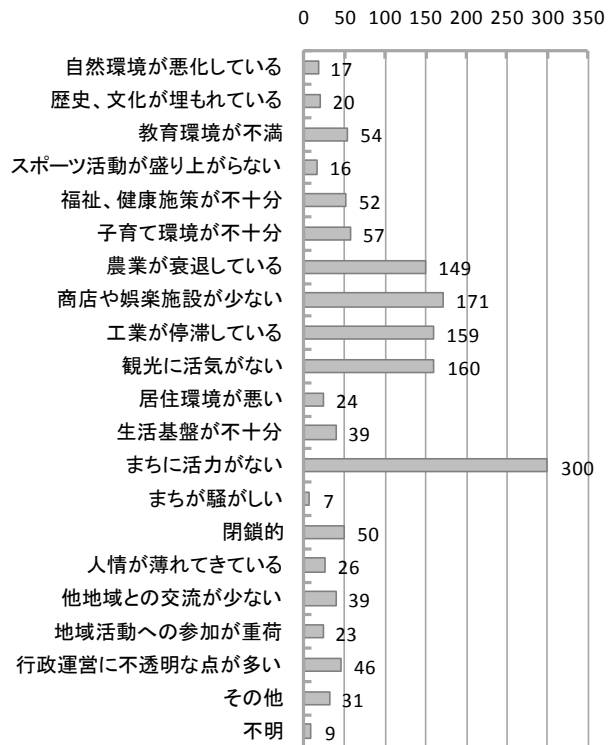
## 川崎町の良いところ・良くないところ（問3・4）

- 川崎町の良いところでは、「自然が豊か」「のどか」が圧倒的多数を占め、「昔ながらの人情」「古くからの歴史、文化」が続く。豊かな自然と静かでのんびりとした環境に恵まれ、歴史・文化に培われた昔ながらの人情が息づくまちとしての評価が高いといえる。
- 良くないところは、「まちに活気がない」が最も多く、「商店や娯楽施設が少ない」「観光に活気がない」「工業が停滞している」「農業が衰退している」が拮抗してこれに続いている。産業を中心に、まちの活力のなさが良くない点として強く認識されている。

### ■ 川崎町の良いところ



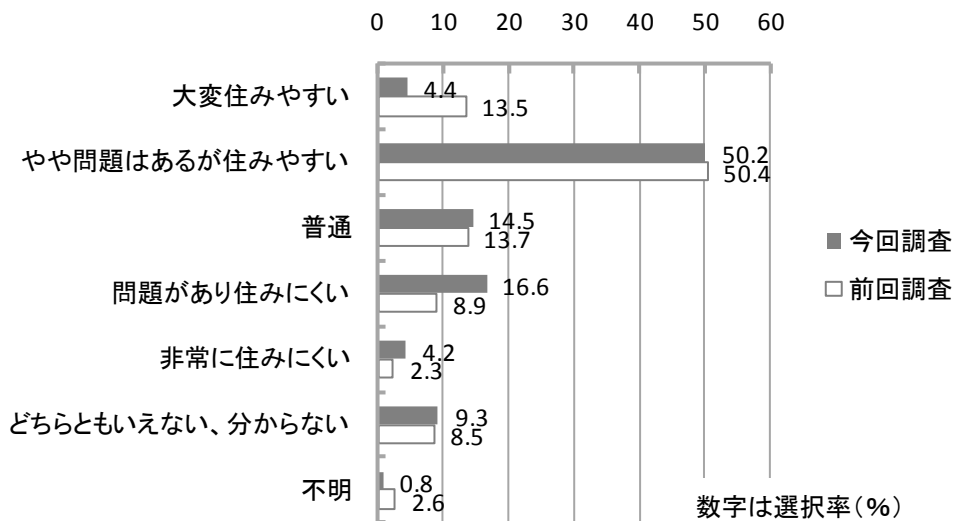
### ■ 川崎町の良くないところ



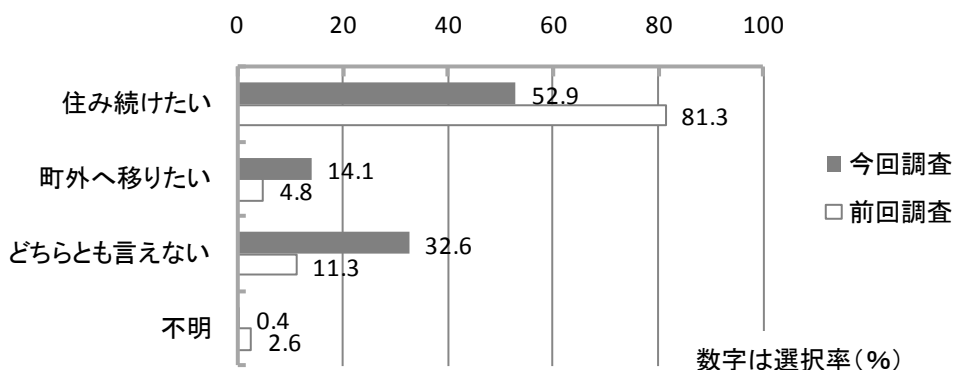
## 川崎町の住みやすさと定住意向（問5・6）

- 川崎町の住みやすさについては、「やや問題はあるが住みやすい」が50%と半数を占め、「大変住みやすい」を加えると**55%の人が住みやすいと答えている**。一方、「非常に住みにくい」4%、「問題があり住みにくい」17%を合計した、**住みにくいという回答は21%で、住みやすいを大きく下回る**。
- しかし、前回調査と比較すると、「**大変住みやすい**」の選択率が低下し、「**問題があり住みにくい**」の**選択率が上昇**している。
- 定住意向については、「**住み続けたい**」53%が、「**町外へ移りたい**」14%を大きく上回る。ただし、「**どちらとも言えない**」が33%あり、**定住意向は決して高いとはいえない**。
- 前回調査と比較すると、「**住み続けたい**」の**選択率が大きく低下**し、「**町外へ移りたい**」及び「**どちらとも言えない**」の**選択率が上昇**している。

### ■ 川崎町の住みやすさ



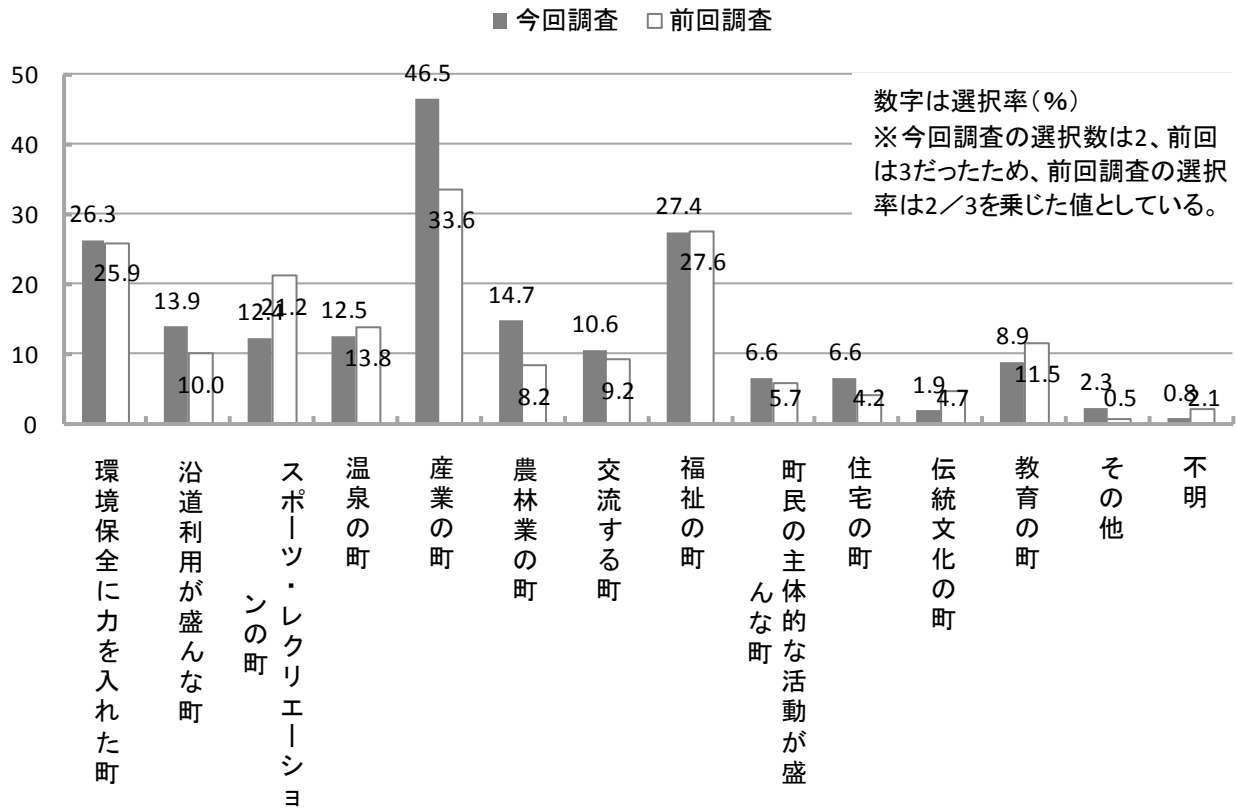
### ■ 定住意向



## 川崎町の将来の望ましい姿（問7）

- 「産業の町」が最も多く、「福祉の町」「環境保全に力を入れた町」がこれに続く。
- 前回調査と比較すると、「産業の町」「農林業の町」「沿道利用が盛んな町」など、産業系の将来像を選択する率が上昇している。

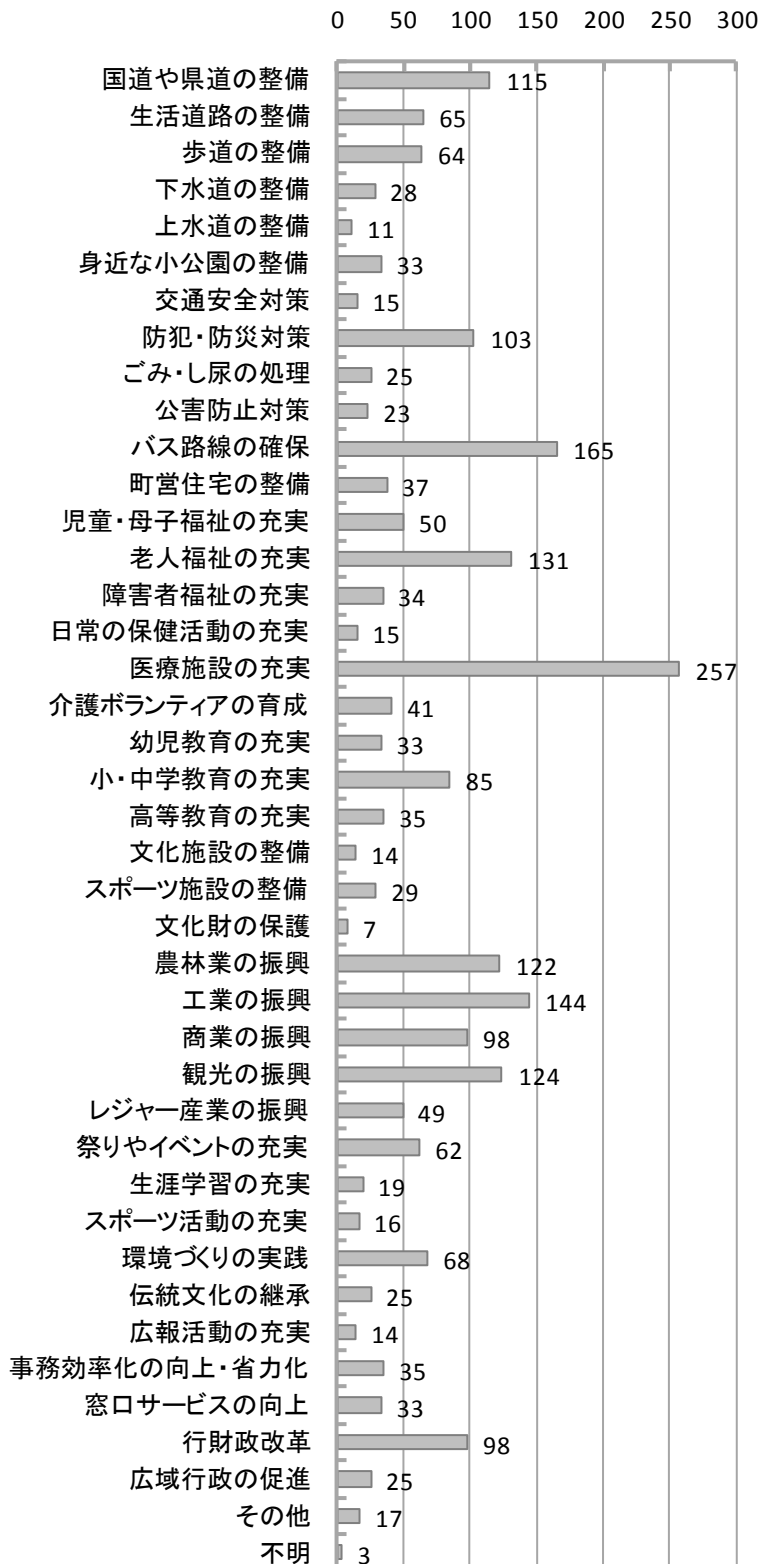
### ■ 川崎町の将来の望ましい姿



## まちづくりにあたって特に力を入れて欲しいこと（問8）

○ 「医療施設の充実」が最も多く、次いで「工業の振興」「観光の振興」「農林業の振興」「商業の振興」といった**産業活性化**への取り組み、「バス路線の確保」「国道や県道の整備」といった**道路交通対策**、また、「老人福祉の充実」「防犯・防災対策」などの**要望が強い**。

### ■ まちづくりにあたって特に力を入れて欲しいこと

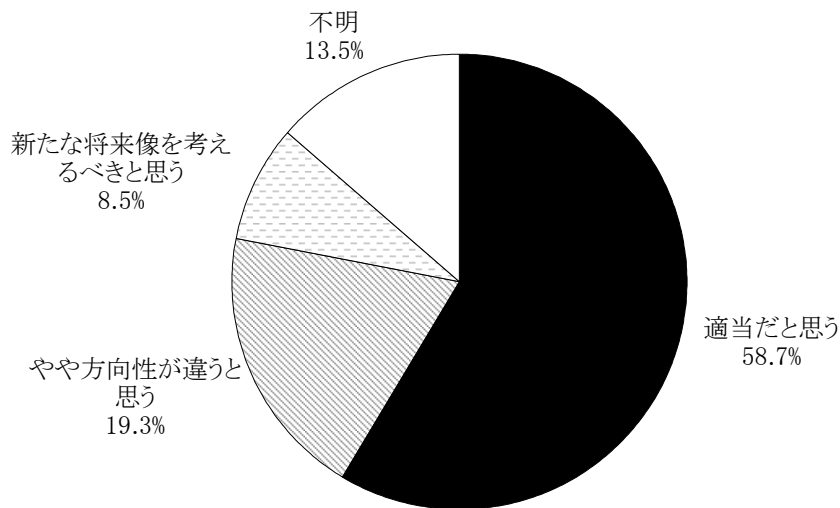




## まちの将来像（問9）

- 第4次川崎町長期総合計画における将来像「人と自然が息づく美しいまち 森をつくるまち」については「**適当だと思う**」が約6割に達する一方、「やや方向性が違うと思う」が19%、「新たな将来像を考えるべきと思う」も9%を占める。
- 将来像に関する主なキーワードは以下のとおりで、**現在の将来像をベースに、やや産業や町の活力に係わるイメージを付加したものが**想定される。
  - ・「人」「子ども」「若者」「高齢者」
  - ・「自然」「森・緑・水・湖」「温泉」「美しい」
  - ・「活力・活気」「定住」「振興」「工業・観光・農業」「働く・仕事・雇用」「交流」
  - ・「健康」「福祉」
  - ・「心」「やすらぎ」「やさしさ」「安心」「元気」
  - ・「暮らし・生活」「ふるさと・郷土」
  - ・「つなぐ」「息づく」「輝く」「未来」

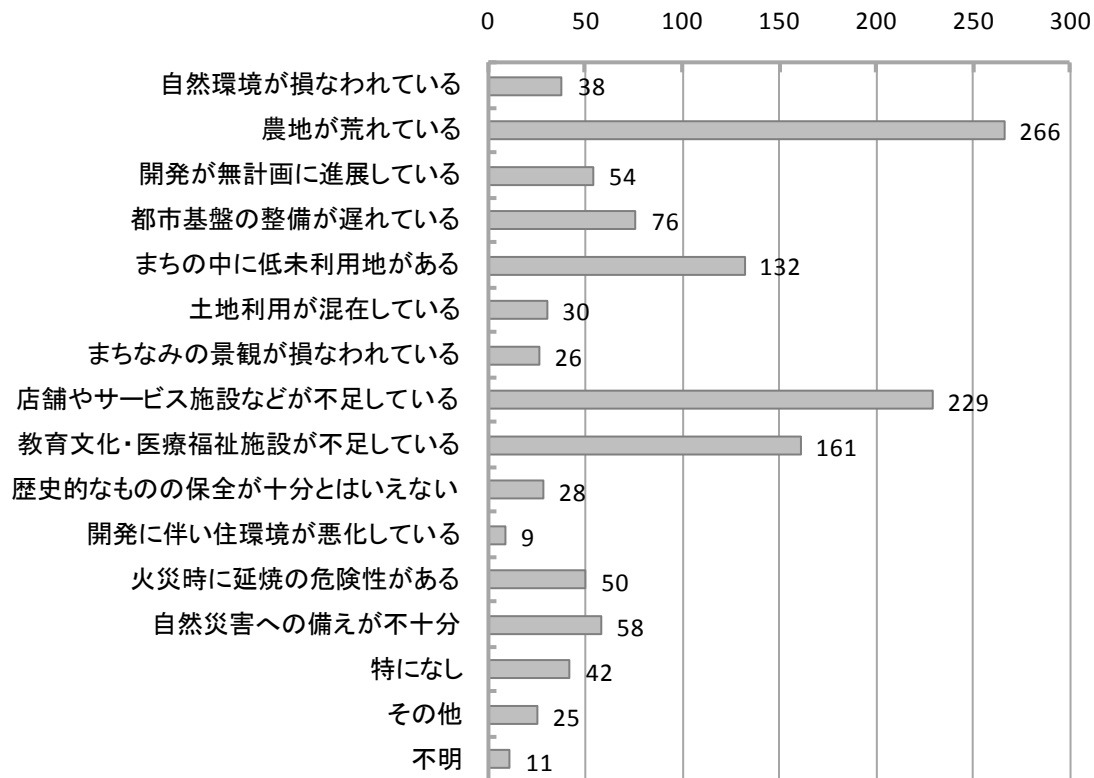
### ■ まちの将来像



## 土地利用上の問題点・課題（問10）

○ 土地利用上の問題点としては、「農地が荒れている」「店舗やサービス施設などが不足している」が多く、「教育文化・医療福祉施設が不足している」「まちの中に低未利用地がある」がこれに続く。

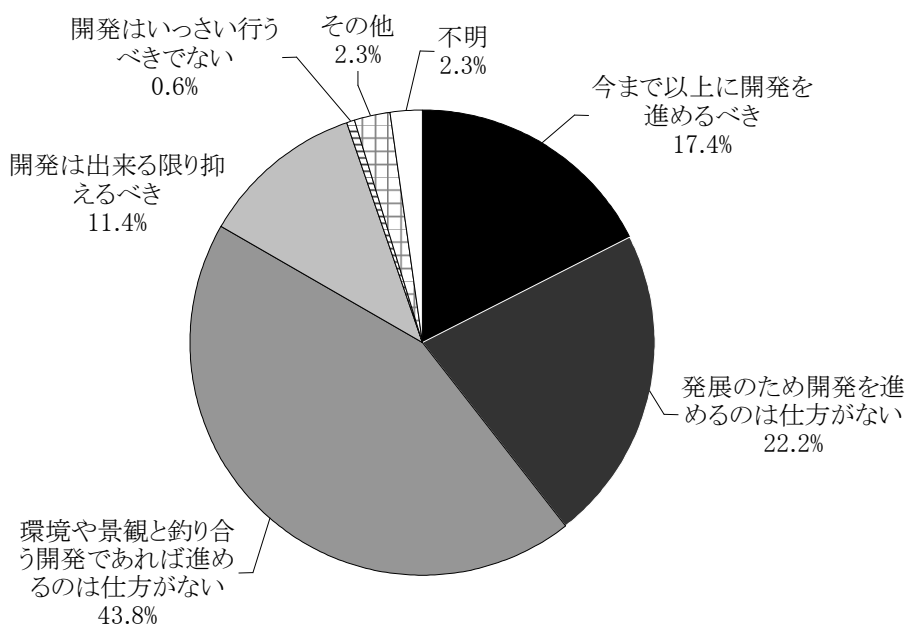
### ■ 土地利用上の問題点・課題



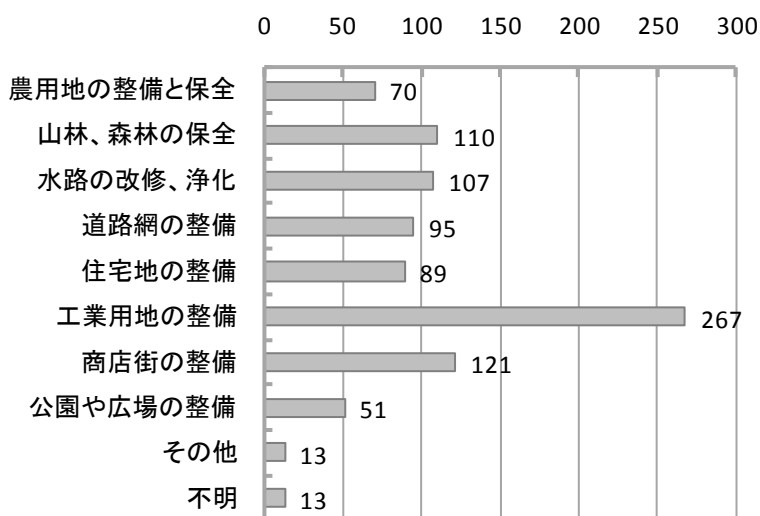
## 今後の開発と重点用途（問 11・12）

- 今後の開発については、「環境や景観と釣り合う開発であれば進めるのは仕方がない」44%、「発展のため開発を進めるのは仕方がない」22%と「消極的推進意向」が66%を占める。
- また、「今まで以上に開発を進めるべき」という「積極的推進意向」17%に対し、「開発は出来る限り抑えるべき」11%、「開発はいっさい行うべきでない」1%という「開発抑制意向」は12%で、**どちらかというとなら開発推進意向が強い結果となっている。**
- 土地利用の重点用途に関しては、「工業用地の整備」が突出して多くなっている。

### ■ 今後の開発について



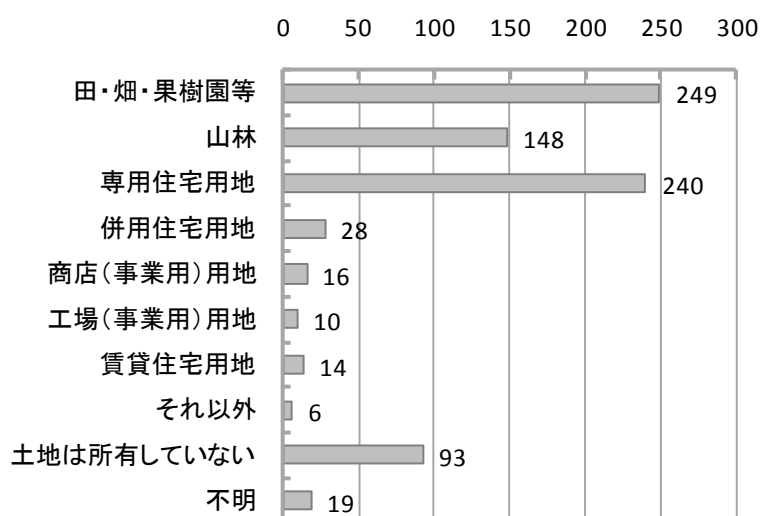
### ■ 土地利用の重点用途



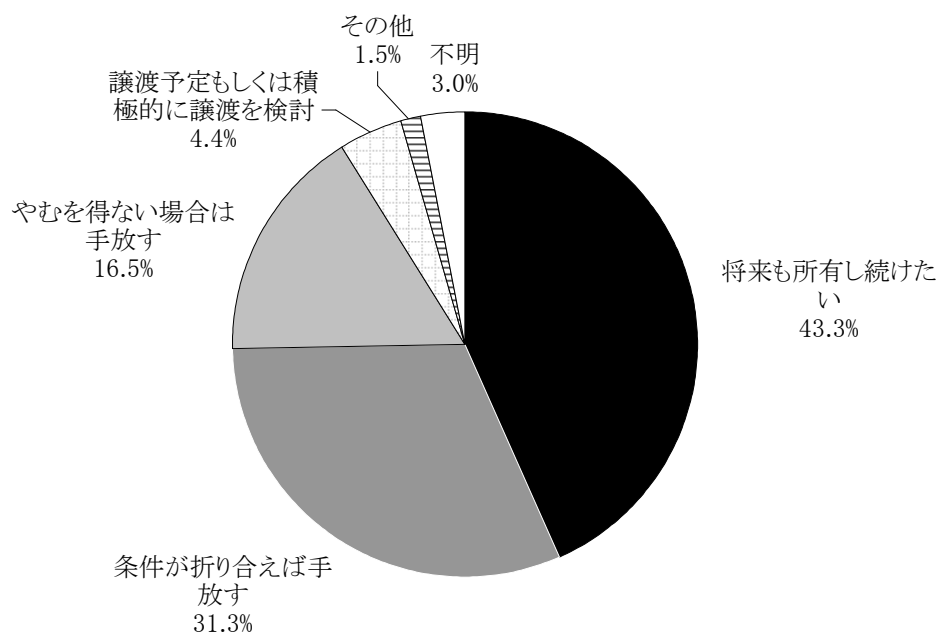
## 土地の所有状況と将来の土地所有（問 13・14）

- 「田・畑・果樹園等」の所有者が 249 人（回答者総数の 48%）、「専用住宅用地」の所有者が 240 人（同 46%）、「山林」の所有者が 148 人（同 29%）となっており、「土地を所有していない」人は 93 人（同 18%）である。
- 土地を「**将来も所有し続けたい**」という土地所有者 43%に対し、「譲渡予定もしくは積極的に譲渡を検討」している土地所有者は 4%と少ないものの、「条件が折り合えば手放す」31%、「やむを得ない場合は手放す」17%と、「**消極的売却意向**」は 48%に上る。

### ■ 土地の所有状況



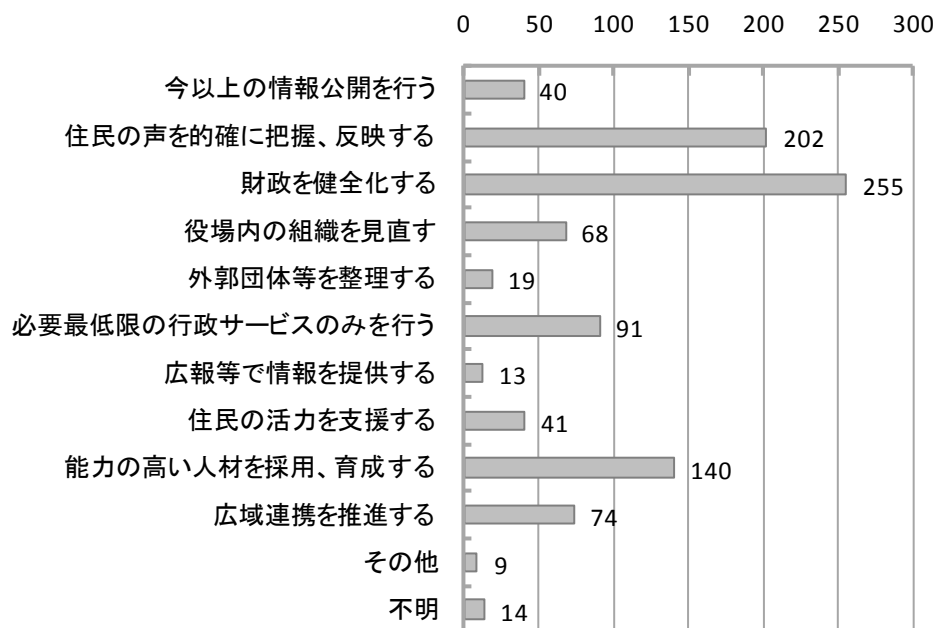
### ■ 所有する土地について(土地所有者のみへの設問)



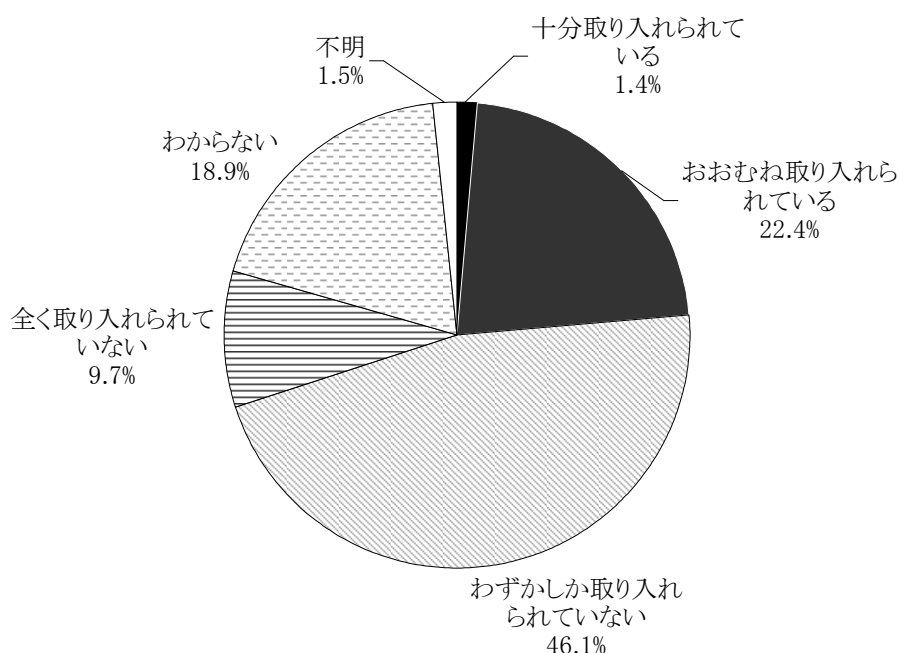
## 今後の行政運営と町民意見の反映（問 15・16）

- 今後の行政運営については、「財政を健全化する」が最も多く、「住民の声を的確に把握、反映する」「能力の高い人材を採用、育成する」がこれに続いている。
- 町民意見については、「おおむね取り入れられている」が 22%を占めるのに対し、「わずかしか取り入れられていない」が 46%、「全く取り入れられていない」が 10%に達し、両者を合計すると過半を占める。

### ■ 今後の行政運営について



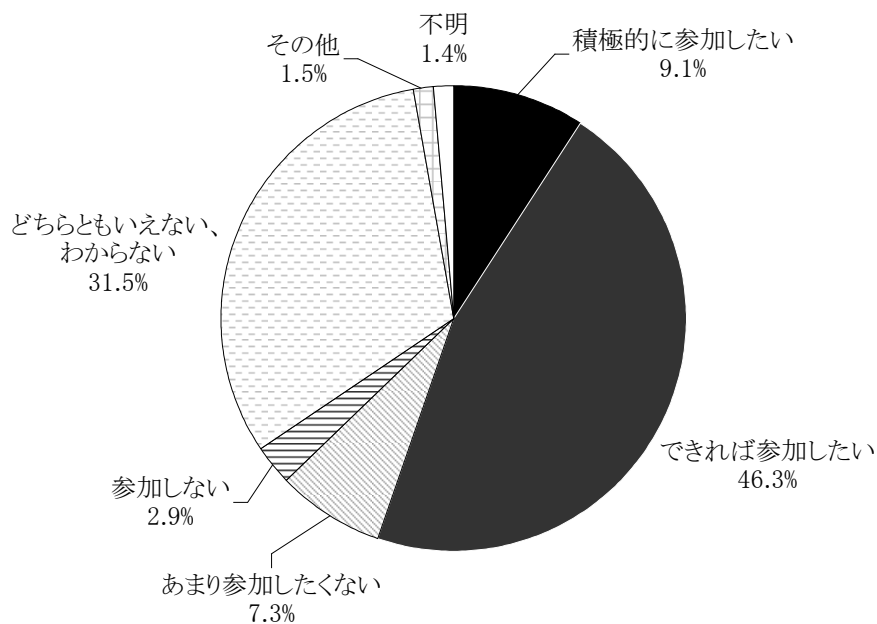
### ■ 町政に町民の意見が反映されているか



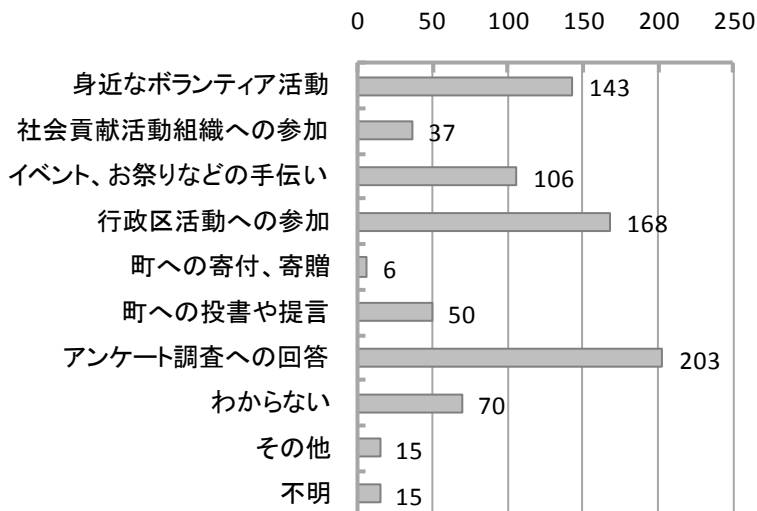
## 住民参加（問 17・18）

- まちづくりに「積極的に参加したい」が9%、「できれば参加したい」が46%で、**まちづくりへの参加意向は半数以上に上る**。一方、「あまり参加したくない」は7%、「参加しない」は3%に留まっており、**まちづくりに対する参加意向は高い**。
- 参加の手段としては、「アンケート調査への回答」が最も多く、次いで「行政区活動への参加」「身近なボランティア活動」「イベント、お祭りなどの手伝い」となっており、**身近な活動への参加意向が強い**といえる。

### ■ まちづくりに対する意識



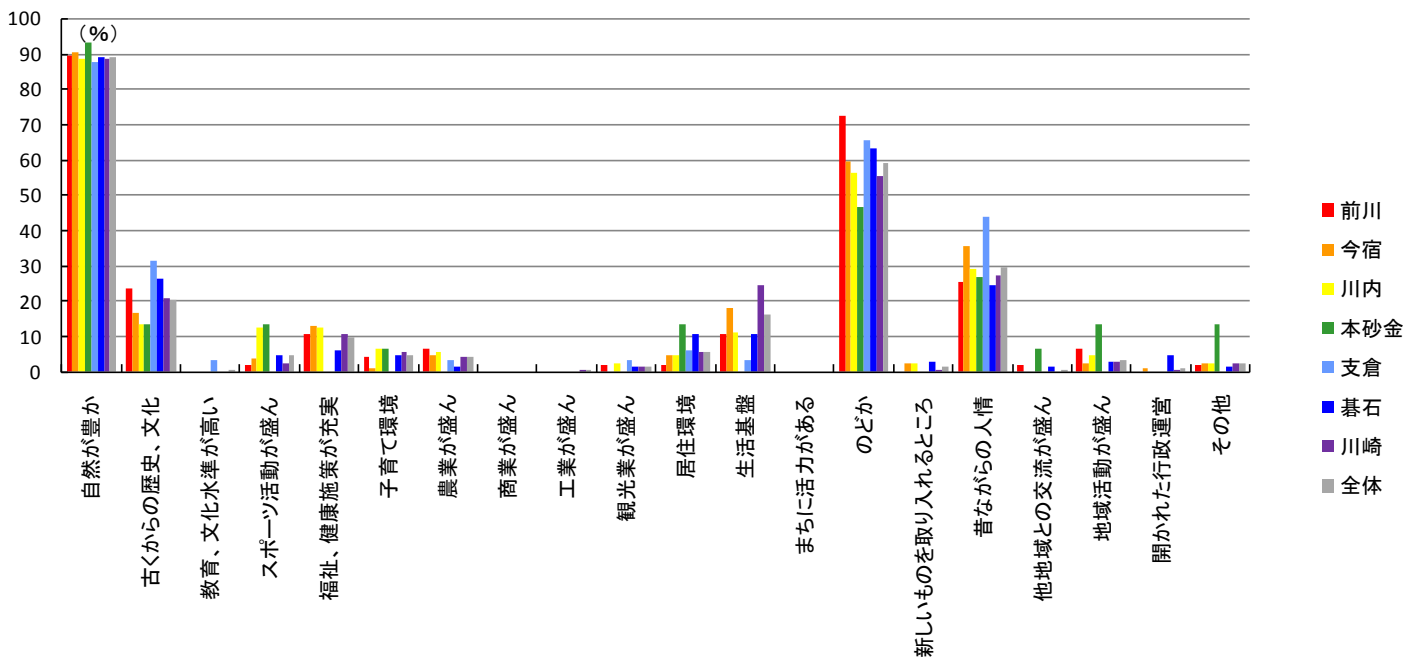
### ■ まちづくりへの参加手段



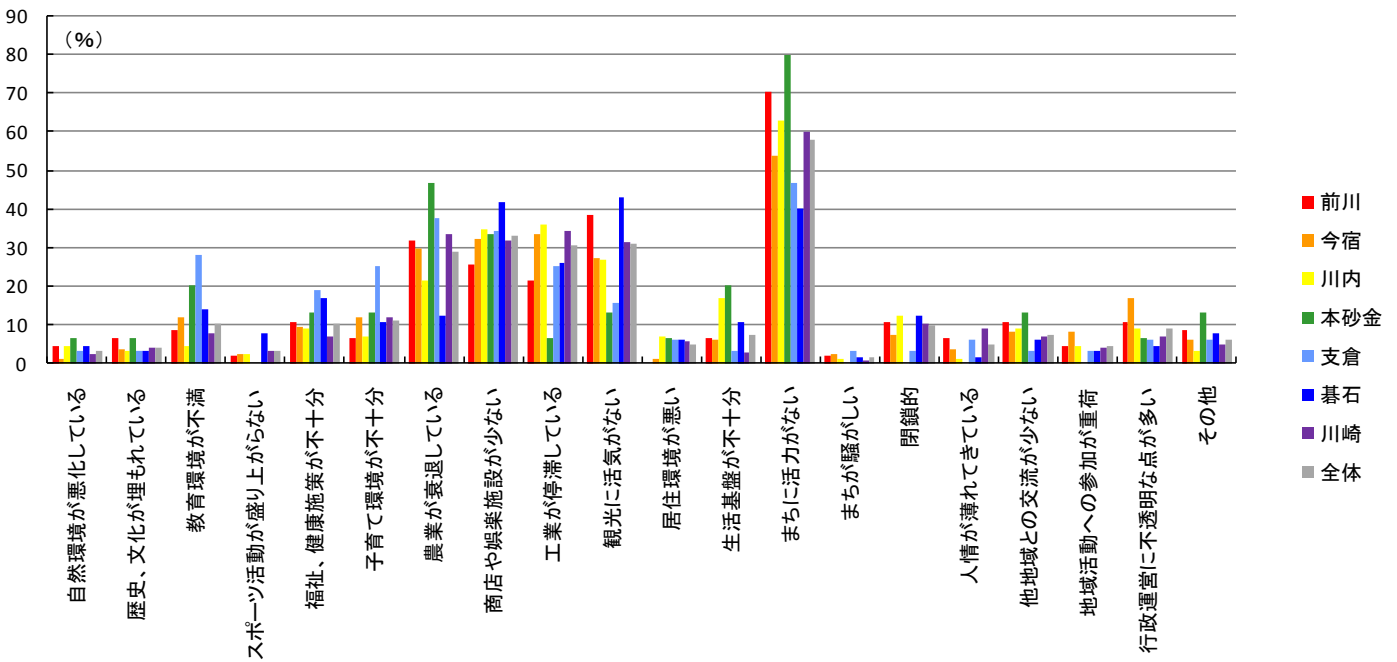
## クロス集計結果 【地域別】

- **前川地域**は、川崎町の良いところとして「のどか」なところを挙げている。良くないところとして観光に活気がないなど、**まちの活力不足を感じており、温泉を中心に観光振興を望んでいる**。また、緑化推進施策の実施について評価が低く、**環境づくりの実践を重点施策に挙げている**。
- **今宿地域**は、「昔ながらの人情」を良いところとしており、**川崎町を住みやすいところと評価し、定住意向も高い**。スポーツ・レクリエーションの町を将来像とし、一方で、工業や農林業の振興、住宅の整備を求めており、**発展のため開発を進めるのは仕方がないといった考えが強い**。
- **川内地域**は、「スポーツ活動が盛ん」を良いところとしている。**工業の停滞など活力不足、生活基盤不足などを理由に川崎町を住みにくいところと感じ、町外移転意向が強い**。**工業を中心に産業の町として積極的に開発を進めるべきと考え、下水道や医療施設など生活関連施設の整備意向も高い**。
- **本砂金地域**は、回答数が少ないため明確な傾向がつかみにくいが、**農地・山林の保全や環境保全を推進するなど、開発抑制の意向が強い**。また、住環境や高齢者福祉施策の実施について評価が低く、**都市基盤、教育文化・医療福祉施設など生活関連施設の整備意向が強い**。
- **支倉地域**は、「歴史文化・のどか・昔ながらの人情」を良いところとしており、**住環境や都市基盤整備などを問題としながらも定住意向は高い**。また、**教育・福祉・子育て環境に不満を感じており、これらの施策推進を望む一方、農林業を町の将来像の一つに挙げ、開発抑制の意向が強い**。
- **碓石地域**は、「古くからの歴史文化」を良いところとしつつも、**住みにくいとして、町外移転意向が強い**。道路・交通体系、店舗など**生活関連施設の整備に不満**を感じ、これらの推進を望んでいる。また、沿道利用が盛んな住宅の町を将来像に、**積極的な開発を望み、将来の土地所有意向は低い**。
- **川崎地域**は、川崎町全体と傾向が似ているが、**生活基盤の整備を良いところし、住みやすいという評価が高い**。**商業の振興、祭りやイベントの充実を重点施策に挙げ、土地については、やむを得ない場合は手放すといった考えが強い**。

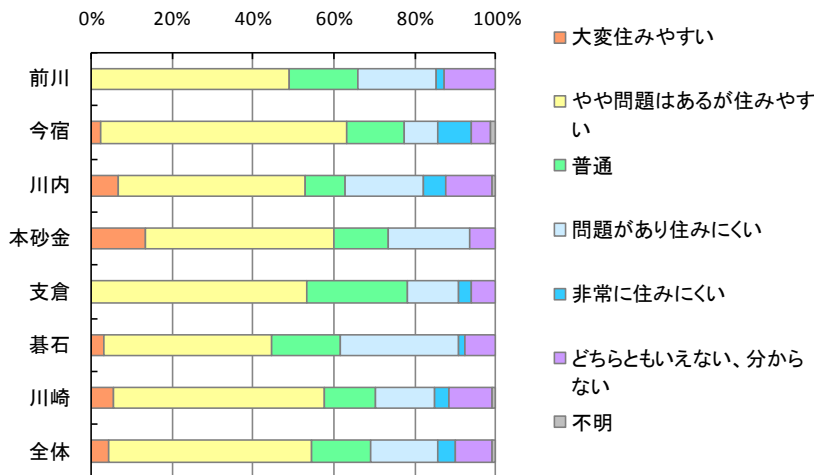
### ■ 地域別 川崎町の良いところ



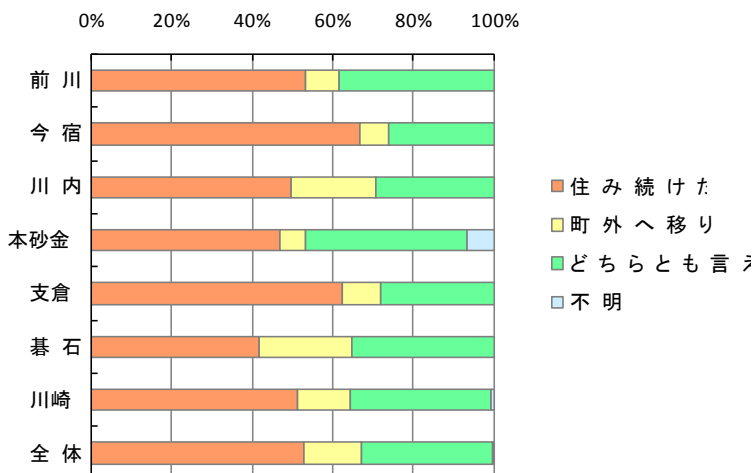
### ■ 地域別 川崎町の良くないところ



### ■ 地域別 住みやすさ

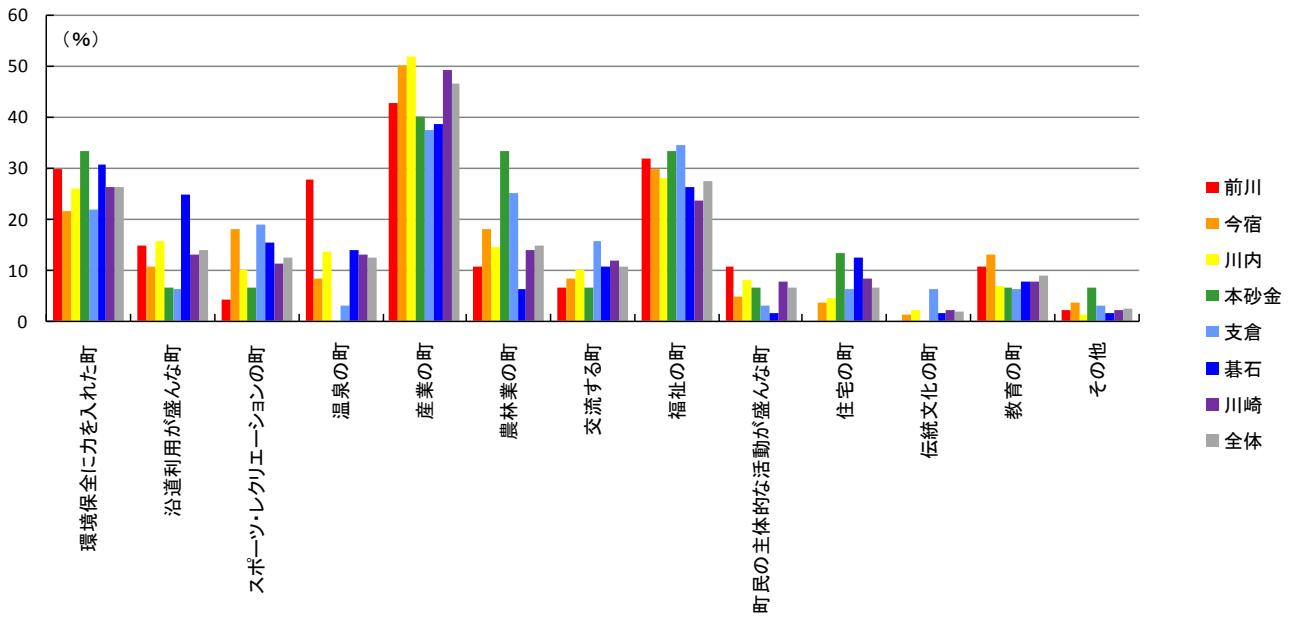


### ■ 地域別 定住意向

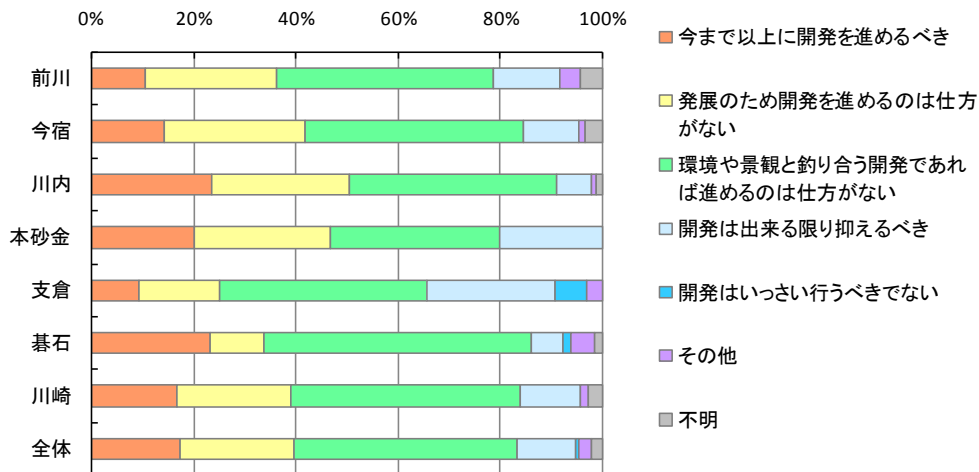




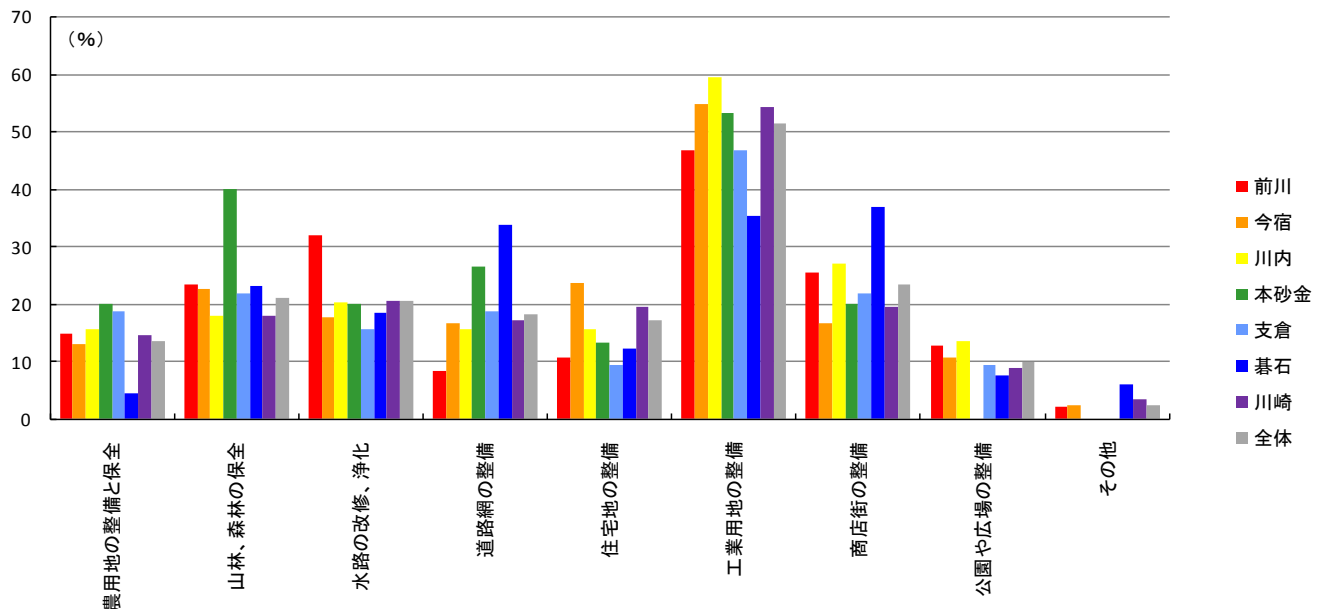
### 地域別 将来の望ましい姿



### 地域別 開発意向と重点用途



### 地域別 重点用途



## クロス集計結果 【性別・年齢別・その他】

### 【性別】

- 性別に大きな傾向の違いはみられないが、**良くないところとして、男性は工業の停滞を、女性は商業施設等の不足を挙げている**ところが特徴的である。また、**重点施策として、男性は幹線道路の整備や工業の振興を、女性はバス路線の確保や医療施設の充実を挙げている。**

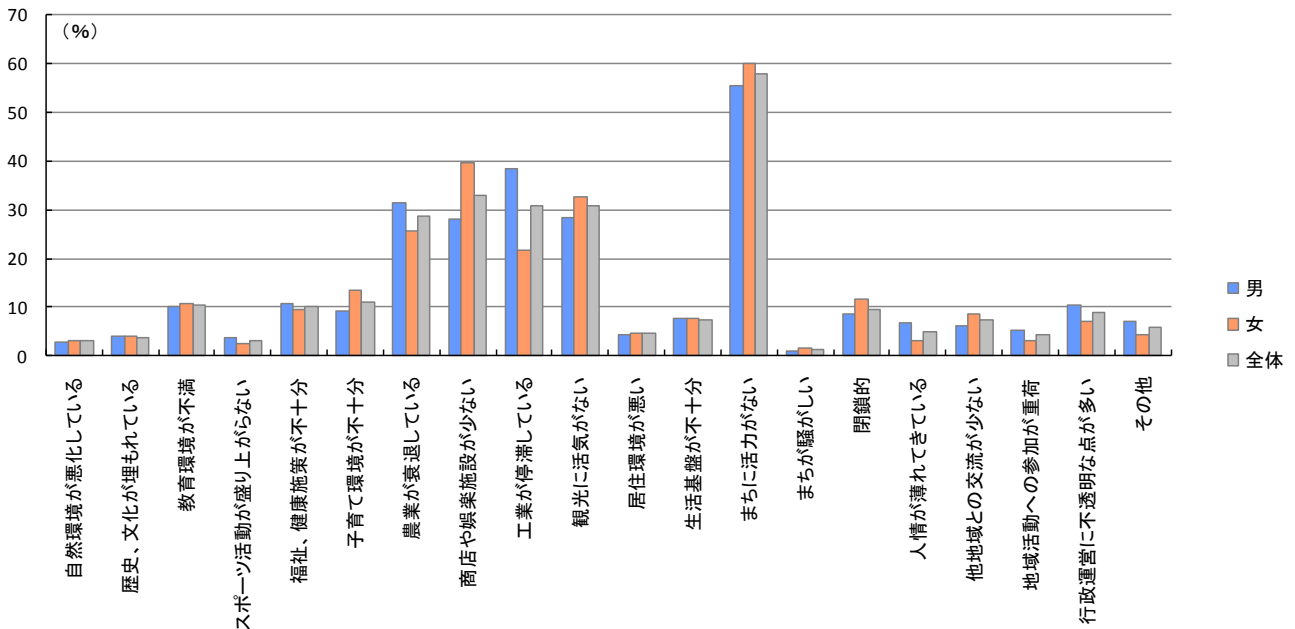
### 【年齢別】

- 施策推進への評価は20歳代で全般的に厳しい。また、**若い世代ほど、川崎町の良いところとして「のどか」なところを挙げる傾向が強く、農業の衰退や工業の停滞に対する問題意識は弱い。**良くないところとして感じているのは、20歳代で商店や娯楽施設のなさ、居住環境の悪さ、30歳代で子育て環境や観光の活気のなさ、40歳代では子育て環境や商店や娯楽施設のなさ、居住環境の悪さなどである。
- **20～40歳代は、スポーツ・レクリエーション、レジャー、祭り・イベントによる交流促進や沿道利用推進による町の活性化、あるいは教育、保健・福祉、幹線道路、バス路線といった生活に密着した施策の推進を望んでいる。**また、**50歳代は工業を中心とした産業振興、60歳代は農林業の振興や高齢者福祉の推進を望んでいる。**

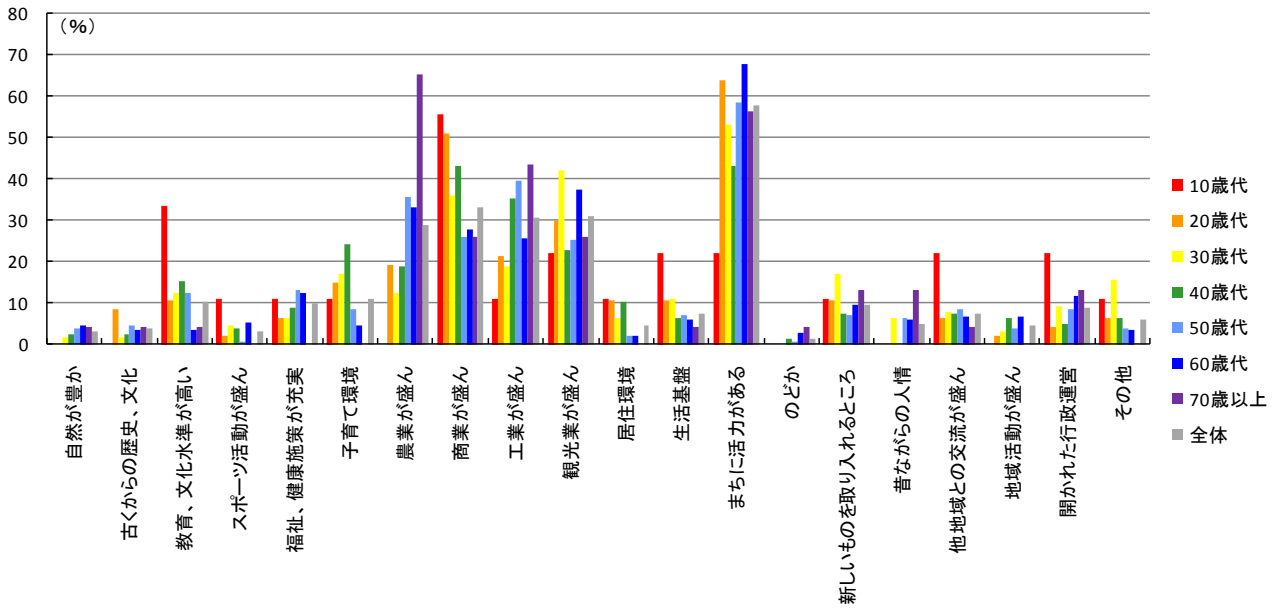
### 【その他】

- 居住年数30年以上、自宅就業者や年齢が高いほど、住みやすいという評価や定住意向が高くなっている一方、**仙台市への通勤・通学者において川崎町を住みやすいとする評価が高いことが注目される。**

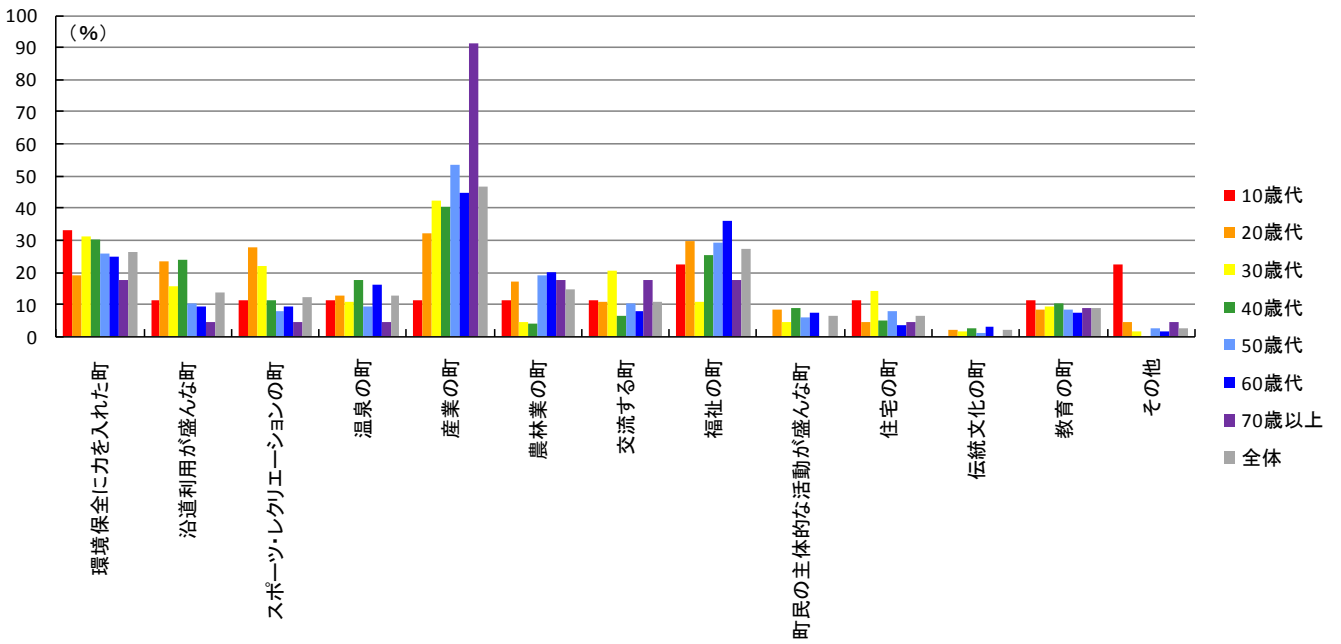
### ■ 性別 川崎町の良くないところ



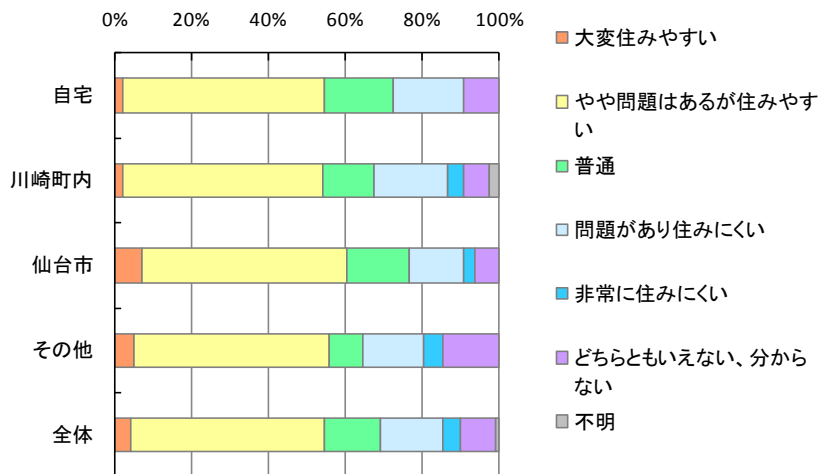
## ■ 年齢別 川崎町の良くないところ



## ■ 年齢別 将来の望ましい姿



## ■ 勤務先別の住みやすさ



■クロス集計結果の整理

下の表は、川崎町全体と比較して選択率（評価）の乖離が大きい回答を整理したもので、選択率（評価）が高いものを「◎」で、低いものを「×」で表示している。  
 なお、カッコ内の数字は回答数である。

	施策実施評価	良いところ	良くないところ	住みやすさ	定住意向	将来像	重点施策	土地利用上の問題点	開発重点用途 土地所有	
地域	前川 (47)	×長寿社会の確立 ×生活の安定 ×町全体の緑化の推進	◎のどか ×生活基盤	×商店や娯楽施設が少ない ×工業が停滞している ◎観光に活気がない ◎まちに活気がない			◎温泉の町	◎観光の振興 ◎環境づくりの実践	◎教育文化・医療福祉 施設が不足している	◎水路の改修、浄化
	今宿 (84)		◎昔ながらの人情	◎行政運営に不透明な点が多い	◎住みやすい	◎定住意向	◎スポーツ・レクリエーションの町	◎防犯・防災対策 ◎児童・母子福祉の充実 ◎農林業の振興 ◎工業の振興		◎消極的推進意向 ◎住宅地の整備
	川内 (89)		◎スポーツ活動が盛ん ×古くからの歴史、文化 ×生活基盤	×教育環境が不満 ×農業が衰退している ◎工業が停滞している ◎生活基盤が不十分 ◎まちに活気がない	◎住みにくい	◎町外移転意向	◎産業の町	◎下水道の整備 ◎医療施設の充実 ◎工業の振興	◎農地が荒れている ◎都市基盤の整備が遅れている	◎積極的推進意向 ◎工業用地の整備 ×消極的売却意向
	本砂金 (15)	◎生活の安定 ◎景観形成のルールづくり ◎水とのふれあいを深める ◎町全体の緑化の推進 ×住環境の整備 ×地域福祉等の推進 ×長寿社会の確立	◎スポーツ活動が盛ん ◎居住環境 ◎他地域との交流が盛ん ◎地域活動が盛ん ×古くからの歴史、文化 ×福祉、健康施策が充実 ×生活基盤 ×のどか	×工業が停滞している ×観光に活気がない ×閉鎖的 ×人情が薄れてきている ◎教育環境が不満 ◎農業が衰退している ◎生活基盤が不十分 ◎まちに活気がない ◎他地域との交流が少ない	◎住みやすい		◎環境保全に力を入れた町 ◎農林業の町 ◎福祉の町 ◎住宅の町	◎歩道の整備 ◎下水道の整備 ◎上水道の整備 ◎ごみ・し尿の処理 ◎商業の振興 ◎生涯学習の充実 ◎環境づくりの実践 ◎窓口サービスの向上	◎都市基盤の整備が遅れている ◎教育文化・医療福祉施設が不足している ◎自然災害への備えが不十分	◎開発抑制意向 ◎農用地の整備と保全 ◎山林、森林の保全 ◎道路網の整備 ◎将来も所有し続けたい ×消極的売却意向
	支倉 (32)	◎道路・交通体系の整備 ×住環境の整備 ×生活の安定	◎古くからの歴史、文化 ◎のどか ◎昔ながらの人情 ×福祉、健康施策が充実 ×生活基盤	×工業が停滞している ×観光に活気がない ×まちに活気がない ×閉鎖的 ◎教育環境が不満 ◎福祉、健康施策が不十分 ◎子育て環境が不十分 ◎農業が衰退している		◎定住意向	◎スポーツ・レクリエーションの町 ◎農林業の町 ◎交流する町 ◎福祉の町	◎防犯・防災対策 ◎公害防止対策 ◎幼児教育の充実 ◎小・中学教育の充実 ◎農林業の振興	◎自然環境が損なわれている ◎都市基盤の整備が遅れている ◎店舗やサービス施設などが不足している ◎教育文化・医療福祉施設が不足している	◎開発抑制意向 ◎農用地の整備と保全 ◎消極的売却意向
	碓石 (65)	◎景観形成のルールづくり ×道路・交通体系の整備	◎古くからの歴史、文化 ×生活基盤	×農業が衰退している ×まちに活気がない ◎福祉、健康施策が不十分 ◎商店や娯楽施設が少ない ◎観光に活気がない	◎住みにくい	◎町外移転意向	◎沿道利用が盛んな町 ◎住宅の町	◎国道や県道の整備 ◎生活道路の整備 ◎バス路線の確保 ◎窓口サービスの向上	◎店舗やサービス施設などが不足している	◎積極的推進意向 ◎道路網の整備 ◎商店街の整備 ×将来も所有し続けたい
	川崎 (179)		◎生活基盤		◎住みやすい			◎商業の振興 ◎祭りやイベントの充実		◎消極的売却意向

		施策実施評価	良いところ	良くないところ	住みやすさ	定住意向	将来像	重点施策	土地利用上の問題点	開発 重点用途 土地所有
性別	男 (270)			◎工業が停滞している				◎国道や県道の整備 ◎工業の振興		
	女 (230)	◎全般的に男性より評価が高い		◎商店や娯楽施設が少ない				◎バス路線の確保 ◎医療施設の充実		
年齢	10歳代 (9)									
	20歳代 (47)	×道路・交通体系の整備 ×国際化の推進 ×効率的な行財政運営 ×広域行政の促進 ×自然とのふれあいの場づくり ×スポーツ・レクリエーションの振興	若い世代ほど ◎のどか ×生活基盤	×農業が衰退している ×工業が停滞している ◎商店や娯楽施設が少ない ◎居住環境が悪い			◎沿道利用が盛んな町 ◎スポーツ・レクリエーションの町	◎防犯・防災対策 ◎児童・母子福祉の充実 ◎日常の保健活動の充実 ◎幼児教育の充実 ◎スポーツ施設の整備 ◎レジャー産業の振興 ◎祭りやイベントの充実		
	30歳代 (64)			×農業が衰退している ×工業が停滞している ◎子育て環境が不十分 ◎観光に活気がない			◎スポーツ・レクリエーションの町 ◎交流する町 ◎住宅の町	◎国道や県道の整備 ◎小・中学教育の充実 ◎祭りやイベントの充実		
	40歳代 (79)			×農業が衰退している ×まちに活力がない ◎子育て環境が不十分 ◎商店や娯楽施設が少ない ◎居住環境が悪い			◎沿道利用が盛んな町 ◎温泉の町	◎バス路線の確保 ◎児童・母子福祉の充実 ◎小・中学教育の充実 ◎レジャー産業の振興		
	50歳代 (154)						◎産業の町	◎工業の振興		
	60歳代 (136)				年齢が高いほど ◎住みやすい	年齢が高いほど ◎定住意向	◎農林業の町 ◎福祉の町	◎歩道の整備 ◎老人福祉の充実 ◎農林業の振興 ◎行財政改革		
	70歳以上 (23)									
通勤先	自宅 (44)					◎定住意向				
	川崎町内 (166)									
	仙台市 (99)				仙台市通勤者が ◎住みやすい					
居住年数						30年以上 (315) で ◎定住意向				
土地所有										住宅用地所有者 (268) は ◎将来も所有し続けたい